

## 第20回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第20回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し「長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）を踏まえた今後の地方の取組み」として、「新たなエネルギー関連産業の育成・集積による地域振興・雇用創出」について議論を行いました。
- 今回の研究会では、まず事務局から「これまでの経過」として、前回の議論の概要や研究会報告書のフォローアップについて、報告がありました。
- 次に、資源エネルギー庁新エネルギー課の梶課長補佐から、「再生可能エネルギー政策の今後の展望」について、ご講演をいただきました。  
講演では、「FIT制度からの自立」を見据えながら、再生可能エネルギーの最大限導入を実現するための、今後の政策課題などの情報をご教示いただきました。  
今後の地方の取組みを考える上でも、貴重な情報をご提供いただけたと、梶課長補佐には感謝しております。
- 次に、事務局から、「福岡県におけるエネルギー施策の取組状況と課題」について、報告がありました。
- 次に、株式会社石橋製作所の石橋代表取締役から、「石橋製作所の風力発電増速機開発への取組み」について、ご講演をいただきました。  
講演では、これまでの取組みや将来の大きなビジネスチャンスの獲得に向けた展望をお示しいただくなど、福岡県でのエネルギー関連産業の育成・集積を考える上で、大変有益なお話をいただきました。
- 最後に、これらの講演・報告を基に、新たなエネルギー関連産業の育成・集積による地域振興・雇用創出に向けて、地方が果たすべき役割について委員間で討議を行いました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「長期エネルギー需給見通しを踏まえた今後の地方の取組み」として、新たなエネルギー関連産業の育成・集積による地域振興・雇用創出の方向性が示されましたので、県をはじめ各主体におかれては、今後の取組みに活かしていただきたいと考えております。